

Amnesty International 事務局

October 12, 2023

## イスラエルへの対案：発電所の燃料が枯渇した。 イスラエルは違法かつ非人道的なガザ封鎖を解除せよ！

<https://www.amnesty.org/en/latest/news/2023/10/israel-opt-israel-must-lift-illegal-and-inhumane-blockade-on-gaza-as-power-plant-runs-out-of-fuel/>

### ガザの現状と Amnesty

International (以下アムネスティ)

イスラエルによる大規模な空爆作戦により、少なくとも 1,350 人が死亡、6,000 人以上が負傷している。そのような状況の中で、ガザ地区唯一の発電所が停止すれば、それはガザ地区に閉じ込められている 220 万人以上の人々にとって、すでに絶望的となっている人道的危機をさらに悪化させるだろう。

今回の空爆は、10 月 7 日にガザ地区からハマスや他のパレスチナ武装勢力（以下ハマス）が無差別にロケット弾を発射したことへの報復として行われた。ハマスはさらにイスラエル南部に戦闘員を送り込み市民を殺害した。このハマス側の作戦で 1,200 人以上が死亡、2,700 人以上が負傷し、多くの民間人が人質として誘拐・勾留された。

カラマール事務局長の事情説明

アムネスティのアグネス・カラマール事務局長は、ガザ事態について以下のように述べた。

「イスラエル当局は、直ちにガザの電力供給を回復しなければならない。さらに 2023 年 10 月 9 日の国防相の命令によって課された制限の強化を停止しなければならない。そして、16 年にわたる違法なガザ封鎖を解除しなければならない。

ガザの市民に対する集団的懲罰は戦争犯罪であり、残酷かつ非人道的である。占領国であるイスラエルには、ガザ住民の基本的なニーズが満たされるようにする国際法上の明確な義務がある」

停電はガザ地区を暗闇に陥れ、現在進行中の人道的大惨事を悪化させるだろう。通信やインターネットへのアクセスはさらに制限されるだろう。

う。停電は、必要不可欠なサービスや清潔な水へのアクセスに深刻な影響を及ぼし、公衆衛生上の災害を引き起こすだろう。

数千人の医療従事者が、イスラエル軍の攻撃で重傷を負った人々の治療に奮闘しているときに、ガザのすでに疲弊してしまった病院は、重要な医療機器を絶望的に失ったままとなる。

慢性疾患の悪化による重症患者、集中治療を受けている患者、生命維持装置につながれている新生児、その他を含む入院患者の命も危険にさらされる。

イスラエルの国防大臣は本日、ハマスが人質を解放するまで、当局は電力を復旧させず、水や燃料の供給を許可しないと述べた。これは、パレスチナの武装集団の行動に対して、ガザの市民を罰するために、イスラエル政府としてこれらの行為が取られたことを、明確に確認するものである。

アムネスティのカラマールは次のように繰り返している。

パレスチナの市民は、ハマス武装集団の犯罪に責任を負ってはいない。イスラエルは、自分たちが関与せず、コントロールもできない行為を

理由に、市民を苦しめている。それはあってはならない行為である。

パレスチナの武装集団がイスラエル市民を大量に殺害したからといって、イスラエルが国際人道法を尊重し、市民を保護する義務を免れることはできない。

ガザの市民に対する集団的懲罰は、ハマスによる戦闘行為の犠牲者の正義を実現するものではなく、イスラエルの市民に安全をもたらすものでもない。

### **人道回廊の確保は緊急の国際課題**

アムネスティはまた、ラファ国境交差点（Rafah border crossing）\*への度重なる攻撃を懸念している。

\*：ガザとエジプトの国境に設けられた検問所。イスラエルの繰り返す攻撃により交通不可能となっている。

イスラエルに対し、人道援助をガザに届けるための人道回廊の設置を促進し、ガザ地区外で医療を必要とする人々の安全な通行を認めるよう求めている。

我々は国際社会に対し、人道回廊をめぐる合意に向けて努力するよう求める。

イスラエル当局は、民間人を殺傷し、民家やインフラを破壊するなど

の違法な攻撃を行わなくてはならない。

イスラエル当局は、東エルサレムやヨルダン川西岸地区でパレスチナ人に対する暴力を扇動している。そのような行為はすぐに停止すべきだ。彼らはすべての市民の安全を確保しなければならない。

ガザのパレスチナ武装集団は、すべての市民の人質を無条件で直ちに解放しなければならない。

### **ガザ空爆の実態調査から**

アムネスティ・インターナショナルは現在、イスラエルによるガザ空爆を調査している。それにはアル・ゼイトゥーン地区の住宅への空爆が含まれる。この爆撃では家族の15人が死亡した。その内訳は、5人の兄妹と2人のいとこ、それに7人の子どもと高齢の祖父母含まれている。その他アル・リマル地区にある高層ビル、「ブルジュ・パレスチナ」の破壊、ジャバリア難民キャンプの市場への爆撃などで、少なくとも15人の子どもを含む69人が死亡した。

アムネスティ・インターナショナルは、双方の武装集団に対し、市民を

犠牲にしないよう、実行可能なあらゆる予防措置を講じるよう求めている。それは国際人道法上の義務に沿ったものである。

アムネスティ・インターナショナルは、イスラエル、ガザ、そしてパレスチナ自治区における暴力と人権侵害の激化に関する一連の記事を発表した。

アムネスティ・インターナショナルは、ハマスなどのパレスチナ武装集団が犯した戦争犯罪について、集団即決処刑、人質拘束、無差別なロケット弾の発射などを含む最初の調査結果を発表した。

イスラエル南部で行われた侵害の証拠がまだ明らかになっていないため、アムネスティ・インターナショナルは犯罪の全容を明らかにするための調査を継続する。

### **ガザ事態の根源はイスラエルに**

2007年以來、イスラエルはガザ地区に空・陸・海の封鎖を敷き、住民全体を集団的に処罰してきた。

今回の戦闘は、それ以來イスラエルとガザを拠点とする武装集団による6回目の大規模な軍事作戦である。

アムネスティ・インターナショナルは2022年2月の報告書で、イスラ

エル軍がガザで、国際刑事裁判所規程とアパルトヘイト条約で禁止されている行為を行ったことを明らかにした。

それはパレスチナ人に対する抑圧と支配の体制を維持することを目的としたものであり、市民に対する広範かつ組織的な攻撃の一環として行われた。一連の行為はアパルトヘイトという人道に対する罪を構成する。4ヶ月前（6月）、アムネスティ・インターナショナルは、2023年5月のガザ地区への攻撃に関する調査結果を発表した。イスラエルは、軍事的な必要性がないにもかかわらず、パレスチナ人の家屋を不法に破壊し、民間人に対する集団懲罰のようなことを行っていた。

そして今回（10月9日）、イスラエルのヨアヴ・ギャラン国防相は「ガザを完全に包囲する」と発表した。電気も、食料も、水も、ガスも遮断された。それは1,200人が死亡したハマスによる攻撃が発生し、その後のイスラエルによる報復攻撃の一環として実施されたものである。

.....

### **アムネスティの決意表明**

アムネスティ・インターナショナルは公平な人権団体であり、武力紛争

のすべての当事者が国際人道法および国際人権法を遵守するよう求めている。

アムネスティ・インターナショナルは今後も、イスラエルがガザ地区で行っている軍事行動について調査し、国際人道法の規則を遵守しているかどうかを判断・報告する予定である。

評価項目は、民間人や民間物への危害を最小限に抑えるために必要な予防措置を講じているかどうか、不法な攻撃や民間物への危害を行っていないかどうか、国際人道法の規則を遵守しているかどうかなどである。アムネスティ・インターナショナルはまた、ハマスとパレスチナの武装集団の活動を監視し続ける。